

令和3年7月21日

学校関係者評価委員会報告書

学校法人 札幌青葉学園 北海道歯科衛生士専門学校
自己評価委員会・学校関係者評価委員会

学校法人 札幌青葉学園 北海道歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は、自己評価委員会において作成された令和2年度自己評価報告書に基づき学校関係者評価を実施したので、以下の通り報告いたします。

記

1. 日時：令和3年6月29日（火） 19：30～20：30

Zoom ミーティングでのオンライン開催

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

<委員長>

進藤 正信 （天使大学・教授）

<委員>

有坂 一男 （医大前歯科診療所・院長）

新岡 百合香 （医療法人仁友会 日之出歯科診療所・歯科衛生士 士長）

齋藤 紫穂 （医療法人仁友会 日之出歯科真駒内診療所・歯科衛生士 士長）

渡邊 みなみ （同窓会副会長 夜間部2期生）

4. 事務局

吉田 重光 （北海道歯科衛生士専門学校・校長）

中村 麻希 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務主任）

益田 友美 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務副主任）

吉田 香 （北海道歯科衛生士専門学校・事務長）

5. 学校からの説明

令和2年度自己評価報告書について

6. 学校関係者評価委員による評価結果

項 目	評 価
<p>基準1 教育理念・目標</p>	<p>○社会・歯科業界のニーズの変化に対しては、近々のものから将来のものまでこれからも柔軟に対応していく必要があることが示された。</p> <p>○教育理念などの学生・保護者への周知については、紙媒体・Webによるものなど様々な取り組みにより適切な対応がなされるようになったことは評価できる。</p> <p>○卒業後は学校の情報を得る機会が少なかったため、北衛だより等の発行は良い取り組みだと思ふ。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>○教育活動等に関する情報公開は、ホームページを中心に行っているが、より効果的な情報発信を加味していくことが必要になっていくと思われる。</p> <p>○情報システム化等による業務の効率化については、平成グループの教務事務システムの導入を進めているところであることが示され、今後一層の効率化が期待される。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>○現在、新カリキュラムの再改定を行っており、今後入学学生への対応を考えている点は評価される。</p> <p>○致し方のないことではあるが、コロナ禍で学びの機会が減ってしまったことは学生にとって残念である。</p> <p>ただ、コロナ禍でリモート授業を行わざるを得ない状況でも、授業・実習内容を変更して対応した点は評価が高い。</p> <p>今後、コロナ禍に限らず、リモートで授業が受けられる選択肢があると良い。</p> <p>○夜間部の教員確保が難しいことが示され、これにどのように対応していくかの方向性が必要と思われる。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>○昼間部卒業生からはじめて1名の国家試験不合格者が出たが、当該学生の学修態度等を顧みて、日常のフォローが重要と考えるに至ったことは今後の成果を期待できる。</p> <p>不合格者が出たことは残念ではあるが、当該学生に関しては個人の意欲の部分も大きいと思われるので、学校でサポートできる範囲にも限界はあったかと思ふ。</p> <p>国家試験が不合格であっても、その後1年間、次の国家試験に合格するまで学校が責任を持ってケアする体制を整えていることは素晴らしいと思ふので、その点をアピールすれば、学生も安心するのではないか。</p> <p>○退学率の軽減に関しては、個別面談等、教員による対応も重要だが、なんらかの精神疾患をもつ学生の増加に対しては専門の医師による診断・処置が必要と思われる。</p> <p>学園全体として精神疾患への学校医制度を考えてもいいのではないか。</p> <p>実習先においても、最近の傾向としてメンタルの弱い学生が増えているように思われるので、あまり厳しくしすぎないように配慮はしているが、指導がしづらい現状はあると思ふ。</p>

<p>基準5 学生支援</p>	<p>○学生に対して個々にきめ細やかな対応をしているのは非常に大変だが、引き続き継続して行ってほしい。</p> <p>学生の中でもモチベーションの高低はさまざまだと思うが、モチベーションの低い学生への対応は大変難しい課題である。精神的なカウンセリング等も含め、コミュニケーションを取りやすい環境づくりが望まれる。</p> <p>○卒業生への支援体制については、個別対応をしていることは評価できるが、卒業生全体として受け入れ、対応していく必要性がましていると思われる。</p> <p>卒業後の情報交換の場となる同窓会の活発な運営や、SNS 等を通じた求人情報の公開で、支援を充実させて行ってほしい。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>○経年劣化に対する補修等、備えが必要と思われる。</p>
<p>基準7 学生募集</p>	<p>○コロナ禍ではあるが、来年度も定員を充足できるように、積極的な学生募集を行って、成果が出ることを期待している。</p>
<p>基準8 財 務</p>	<p>○情報公開を適切に行っている。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>○個人情報の保護対策に関しては、引き続き整備に期待したい。</p>
<p>基準10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>○社会貢献・地域貢献はコロナ禍の現状で難しいとは思いますが、学生にどのようなボランティアをしたいか意見を募って、今後に活かしていくと良いのではないかと。</p>

以上